

## 令和元年度第2回広島県FM連絡会議 開催報告

広島県 FM 連絡会議代表幹事：広島県

令和元年度第2回の広島県FM連絡会議（自治体等FM連絡会議広島県地域会）を、令和元年11月15日（金）に広島市役所において開催しました。当日は、広島県内の自治体から合計131名が参加しました。

第1部では、一般財団法人建築保全センターの池澤龍三様より、「実践的な公共施設マネジメントのススメ」と題して、公共施設マネジメントを進めていくための課題、またそれを解決していくためのポイントや必要な力を、施設管理の劣化シートや民間プール活用等の事例を踏まえ、御講演をいただきました。特に、昨今施設の老朽化等が進む中で、施設の修繕履歴や施設の状況が分かる写真等の情報をいかに引き継いでいくことが重要かを御説明いただきました。

第2部では、各市町の重要な課題の一つとなっている「廃校施設・余裕教室の有効活用等について」のテーマを中心に4グループに分かれ、各自治体の廃校施設の民間や地元等の利活用の事例発表や、廃校施設の解体費の予算要求や跡地活用の合意形成への課題等の情報共有や意見が取り交わされました。アドバイザーとして引き続き御参加いただいた一般財団法人建築保全センターの池澤龍三様には、各グループで出ていた課題や意見に対し、的確かつ参考となるアドバイスをいただきました。

最後に、令和2年度の広島県FM連絡会議の幹事選任について諮り、広島県、広島市、呉市、廿日市市、尾道市の現幹事を再任し、引き続き、広島県FM連絡会議を盛り上げていくことになりました。

今回の連絡会議は、平成26年度に設置以来、11回目となります。次回以降も、この会議での情報交換・意見交換を通して各自治体が結びつきを深め、これからの課題を克服し、広島県全体でのファシリティマネジメントのレベルアップが図られるよう、工夫していきたいと考えておりますので、今後とも皆様の御協力をお願いします。

第1部



第2部

